

住まいるアップ・ニュース

第8号

2011年7月15日発行

高齢期の住まいー被災地で考えた「住まい方」

社団法人北海道総合研究調査会常務理事（住まいるアップ委員会副委員長）

五十嵐智嘉子

— 目次 —

- 高齢期の住まい
ー被災地で考えた「住まい方」
…1
- 高齢者住宅の
見学“勉強”会が終了しました
…2
- 第2回事業者勉強会開催
…3
- 市民セミナーを開催しました
…4
- ホームページ更新中
…4
- 編集後記
…4

先日、東日本大震災で地震と津波で大きな被害を被った宮城県、岩手県を訪れた。沿岸部はまだまだ「復興」の2文字が遠く、崩れた建物が「ガレキ」と化しており、処理されるあてもなく山積みにされたままであった。家の土台のあとがそここにあり、唯一、かつてあった生活の証のように見えた。建物がほとんどなくなった沿岸部は、それほど多くの平地があるわけではないことが一目瞭然であって、これからのまちづくりの困難さが想像された。

現在の被災地での住まいは、避難所、仮設住宅、少し壊れた自宅、親兄弟などの親戚の家、に大別されるだろう。いずれも落ち着かない空間である。しかし、そんな中でも生活を再建しようとしている人が活動を開始している。避難所や仮設住宅の中でコミュニティを創るのではなく、避難所と仮設住宅の間にカフェ（広場）を創って交流の場を提供する活動。親戚の家に身を寄せたことで一家が孤立しないよう（そこには支援物資が届けられない）、被災した方自らが巡回し、御用聞きをして支援団体につなぐ活動、など。生活再建、まちの再生の確実な1歩を進んでいることが確信できた。

阪神大震災の時に比べてボランティア



の数が少ないといわれるが、もともと地縁・血縁の強い地域で、外からのボランティアがいなくても自分たちで動くことが当たり前になっているという。地域のありようはそこに住む人たちの考え次第であることを改めて感じた。

北海道に始まった「高齢者共同住宅」は他の地域にはない、独特のものであるらしい。これをそのまま被災地にあてはめることはできないが、高齢化率40%を超えた被災地の住まいの再生手法の一つとして提示できないか、高齢者だけではなく子ども（災害孤児も多い）も一緒に生活する新たな共生住宅への展開も考えられるのではないかと、思いを馳せることができるほど人々は力強かった。

だがその前に、困難の中でも前に向かう姿勢を創ることは、彼の県のことではなく、自分たちのこととしても考えるべきことだと気がついた。

高齢者住宅の見学“勉強”会が終了しました

高齢者住宅を見学しながら正しい知識を修得していただくことを目的に開催した高齢者住宅の見学“勉強”会が終了しました。

【期間・回数】平成23年5月25日～6月17日
(10日間) の、合計20回(1日2回)

【参加人数】108名

【車内セミナー(往路車内)】

見学時の視点や質問等を明確にするため、見学のポイント等の説明をしました。短時間での理解は困難ではありますが、確認や注意点が沢山あるという事を認識する事が重要で、選ぶ目を養うと共に、トラブルを未然に防ぐ効果があると考えられます。今後個人で見学する際も、その姿勢は役立つと思います。

【見学・質疑応答】

各回約1時間で、住宅職員の説明をうけながら見学と質疑応答を行いました。見学では少人数制により、共用部分や居室を隅々まで確認でき、暖房の燃料や台所の利用方法、緊急時や来客の対応等細かく尋ねながら、生活イメージを膨らませていました。部屋の広さの感想と、家財道具の処分への戸惑いの声が多く、その次には緊急時の不安の声でし

た。質疑応答では契約や料金体制の話が中心となり、パンフレットとしおりを見比べながら聞き忘れがないかチェックする方もおられ、毎回、真剣な様子が見受けられました。

【意見交換会(復路車内)】

復路は参加者の意見をいただく時間とし、参加したきっかけ、見学先の事、身の上話、住み替えに対する考えなどが聞かれました。中でも「住宅の情報をどこで教えてもらえるのかわからないから、探したくても探せない」という声が多く、相談窓口についてもご案内をさせていただきました。

【協力いただいた事業所一覧

～ご協力ありがとうございました～

- ・ノースランド豊平 (豊平区)
- ・高齢者向け優良賃貸住宅サンアヴェニュー北郷 (白石区)
- ・ドーミー琴似 levi (西区)
- ・シニア向け賃貸マンション札幌ビオス館 (中央区)
- ・楽明館ほんごう (白石区)
- ・ライフコート手稲西 (手稲区)
- ・賃貸マンショングランポート美沢 (豊平区)
- ・高齢者専用賃貸住宅ゆうゆうじてき (清田区)
- ・生涯安心高齢者向け賃貸マンションサンビレッジきらり (清田区)
- ・高齢者向け賃貸マンションラ・メージュ (東区)



見学中の様子

第2回事業者勉強会開催

平成23年度の「第2回安心・快適住まいるアップ事業者勉強会」を6月22日午後、札幌エルプラザにて開催しました。参加数はこれまでで一番多く、32事業所より51名でした。

【講演1 食中毒にご用心】

講師：平田 睦子 氏

(札幌市保健所 中央衛生担当課長)

平田氏の自己紹介と兼ねて、勉強会当日「今年初の食中毒警報が発令されました」という報告から始まり、非常な身近な問題として講演が始まりました。まず食中毒について、食中毒の原因や分類、発生状況、健康被害について解説がなされ、その後食中毒予防対策として、食材・調理器具の取り扱いの方法、手洗いの重要性・仕方をご指導いただきました。安全でおいしい食事を提供するため食中毒予防の三原則「つけない（清潔・食毒）、ふやさない（迅速・冷却）、やっつける（加熱）」を必ず守るようお願いいただき終了しました。

【講演2 喜ばれる高齢者住宅の食事】

発表者(4名)

原田朋憲 氏(グループダイニングゆるり 施設長)

山崎真知子 氏(株芸術の森シルトピア

厨房長・管理栄養士)

沼田典子 氏(株あいりん 代表取締役)

酒井衛子 氏(株北海道勤労者在宅医療福

祉協会給食事業部部長)

司会：我妻実香(住まいるアップセンター事務局)

規模や提供体制の異なる4事業所の代表者に発表いただきました。まず自己紹介と運営の概要をお話いただいた後、食事の取り組みに関する15項目について、同じ質問に回答

する形式で発表いただきました。運営方法や雇用体制、各食の金額、仕入れ、栄養価、治療食、周知方法、イベント等、独自の取り組みを含んだ非常に細かい所までの説明や、実際に提供されている食事や厨房の写真を見ながらの解説もなされました。最後に、喜ばれる為の日々の具体的な取り組みとその食事への思いに触れ、終了しました。

ご協力いただいた事業所の皆様、通常ではなかなか伺う事のできない貴重なお話しをありがとうございました。



講演1の様子



講演2の様子

【参加者アンケートより】

参加者33名の方々にアンケート回答をいただくことができました。講演1についての感想は「大変良かった」「良かった」をあわせて85% (28名)、講演2についての感想は「大変良かった」「良かった」をあわせて91% (30名)、事業者意見交換会については「大変良かった」「良かった」をあわせて63% (21名)でした。講演1、講演2とも、毎日の食事にかかわる内容であり、関心の高さが参加者数に現れた結果となりました。また、参加者の顔ぶれもこれまでとは若干異なり、食事にかかわる職員の参加が多かったものと思われます。今後も、より多くの事業所の皆様にご参加いただけるよう、継続して参ります。(次回の勉強会は8月22日です)

市民セミナーを開催しました

平成23年度市民セミナーを7月7日午後、札幌エルプラザにて開催しました。札幌市内外より多数参加いただき、ほぼ満席の会場では、熱心に聞き入る姿が見受けられました。



基調講演の様子



座談会の様子

【基調講演】

シニア世代の住み替えのヒント～札幌市の高齢者住宅～

講師：瀬戸口 剛 氏（北海道大学大学院工学
研究院教授、住まいるアップ委員会委員長）

高齢者住宅の種類やサービスについての説明とともに、身体状況に応じた2～3段階での住み替え（つぎの住みかど、ついの住みか）の考え方のアドバイスがありました。

【住み替え座談会】

ひとつごとではありません。～住み替え経験談あれこれ～

出演者：住み替えを3回経験済みのAさん、
検討中のBさん、経験済みのCさん

まとめ役：瀬戸口剛 氏

進行役：石澤佳子（札幌住まいるアップセンター事務局）
住み替えにまつわる経験談をお持ちの3名に、住み替えのきっかけや探し方、引越しのエピソードやアドバイスなどを、座談会形式でうかがいました。

ホームページ更新中

ホームページを開設しました。市民と事業者への情報提供を目的とし、コンテンツの充実をはかって参ります。

<http://smile.seedsnet.gr.jp/>

一編集後記一

お忙しい中、いつもご覧いただき、ありがとうございます。北海道の短い夏もいよいよ本格的になってきましたね。我が住まいるアップセンター事務局にはクーラーがありませんが、なんとか気合いで乗り切りたいと思います。次回は9月15日発行予定です。

安心・快適住まいるアップ事業

札幌・住まいるアップセンター（シーズネット内）

TEL 011-708-8567 FAX 011-717-6002

※本ニュースレターのメール配信ご希望の方は、下記アドレスまでご一報ください。

info-suc@seedsnet.gr.jp

～新時代を創る高齢者の経験と活力ネットワーク～
SEEDS NETWORK

Seniors' Experiences and Energies for Developing New Systems

高齢者による新しい仕組みづくりの種になりたい、そんな気持ちを込めました。



NPO法人シーズネット

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1番地 SCビル2F

代表 TEL 011-717-6001 FAX 011-717-6002

<http://www.seedsnet.gr.jp/>

—その他の事業—

さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業

さっぽろ孤立死ゼロ推進センター（シーズネット内）

TEL 011-708-8686

シーズネット会員の見守り合い

ほっと安心（シーズネット内）

TEL 011-717-7077

高齢者住宅相談情報センター

あんしん住まいサツポロ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 オーク札幌ビル1F

TEL 011-210-6224